

次官

人事課長

内閣閣印 〇九號

昭和十六年六月十三日

昭和十六年六月拾四日接受

16.6.20

入 16.6.14 事

東亞局長

儀典課長

内閣書記官長 富田 健 治

歐亞局長

秘書課長

大橋忠一殿

環南局長

會計課長

酒井

南洋局長

電信課長

検査

通商局長

今般大政翼贊會ヨリ別紙寫ノ通申越候ニ付テハ可然御配意相煩度

條約局長

調査部長

田代參事官



總人秘四八號

昭和十六年六月六日

大政翼贊會事務總長 石 渡 莊太郎 圖

内閣書記官長 富 田 健 治 殿

政府ト大政翼贊會トノ表裏一體強化ニ關スル件

政府ト大政翼贊會トノ表裏一體ヲ更ニ強化ナラシムル爲政府ハ左記方針ニ依リ可成大政翼贊會ヲ御活用相成度此段得貴意候也

A 5.0.0.4



外務大臣官房文書課長 殿

「臨時中央協力會議議題處理經過概要」送附ノ件
客臘開催致候臨時中央協力會議ニ於ケル議題處理經過ニ關シテハ首
題ノ通り經過概要作製致候ニ付郵送附申上儀也

文書課長 圖書係
組地第一〇〇號
昭和十六年六月十七日

大政翼賛會組織局地方部長

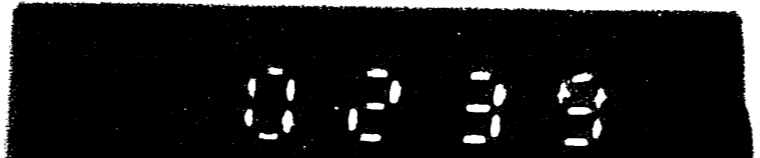


昭和十六年六月二十三日



記

- 一、政府ト大政翼賛會トノ表裏一体ヲ更ニ強化スル爲
- 一) 各省ニ於テ主トシテ民意ヲ徹スル調査事項ハ可成大政翼賛會調査委員會ヲシテ調査セシメラレ度キコト
- 二) 各省ニ於テ必要上委員會。參與會等ヲ設ケルル場合ニ於テ兩院議員、民間人等ヲ委員參與等ニ任命セララルル場合ハ可成大政翼賛會ノ參與、調査委員會委員等ヨリ任命セラレ度キコト
- 三) 各省ニ於テ調査視察等ニ内外地ニ兩院議員、民間人等ヲ出張又ハ隨行セシメララルル場合ニ於テモ二)ノ趣旨ニ依ラレ度キコト



分類 / 5.0.0.1

12

大政翼贊會

拜啓 陳者貴省御後援ノ下ニ目下開催仕居候大東亞共榮圈建設講習會第二班(官城縣鹽釜神社)第四日目(八月廿三日)午前八時ヨリ約三時間貴官ノ御講演ヲ御願申上度公私御多用中乍恐縮御依頼申上候

昭和十六年六月二十日

敬具

大政翼贊會東亞局

庶務部長 藤澤親雄

外務省

重松文書課長殿

今川 隆吉

59 59 59

甲號 大日本印刷



(分類 A.S.O.)
 東亞局長
 歐亞局長
 東洋局長
 通商局長
 條約局長
 調査部長
 庶務部長
 文書課長
 儀典課長
 入庫課長

拜啓 時下盛夏の候に御座候處益御清祥之段奉賀候
 陳者過般本會改組に當り新に中央訓練所を設置し先づ本會構成員
 に對し禊の行を基礎とせる録成講習會を兩三回開催仕候處御蔭を
 以て相當の成績を收め得たるに共將來に對しても確信を得申候
 偏に各方面御支援の賜と奉深謝候
 然るに今回中央訓練所に於て別紙の通り我國各界に於て指導の地
 位に在らせられる方々のみを對象として特別修録會開催の計畫仕
 候間御案用中寸暇の御割愛を願ひ御參加を乞ひ卒先垂範を賜らん
 こと奉懇願候
 尙貴處局課長各位へも傳への上御勸め願上候
 先は右不取敢特別修録會御參加勸誘の御案内迄如斯に御座候
 儀典課長
 昭和十六年七月四日
 敬具

大政翼贊會事務總長 石渡 莊太郎

大橋 忠一 殿

乙號 大日本印刷

東 16.7.17
 16.7.22

大 政 翼 贊 會

拜啓 益々御清祥之段奉賀候
 陳者小生不敏を顧ず中央訓練所長に就任仕り皇國民の録成に付日夜
 苦心致居候得共性來の魯鈍にて未だ大方の期待に副ひ得ざるを遺憾
 と存候 本中央訓練所は四月開設以來計畫を樹て五月下旬より禊の
 行を基礎とせる中央録成講習會を兩三回開催致候處御蔭を以て相當
 の成績を收め得たるやに被存候は一に各方面よりの御支援の賜と深
 謝致居る次第に御座候
 然る處過般訓練部門を有せられる各官廳の關係局課長及民間主要団
 体幹部と録成に關する打合せ協議會開催仕候處其席上特に我國各界
 指導者の爲に當中央訓練所に於て禊の行を基礎として特別の修録會
 開催方に付き御希望有之候旁々以前よりも陸海軍將官、官界の先輩
 文藝家の有志者より中央録成講習會へ熱心なる參加の御希望有之た
 る次第にて今回箱根山中舊街道須雲に新に理想的なる日本精神修養
 道場落成致したるを以て其の道場開きを兼ね別紙の通り特別修録會
 開催を計畫仕候
 就ては御多忙中の餘暇御割愛を願ひ御參加願上候

淨書川代乙號 (B5 16.5-50,000) 水野清



大 政 翼 贊 會

然し會場設備の關係も有之別紙の通り大体參加者六十名と致候に付
き御參加希望の向豫定數を超え候節は御申込の順に依つて決定致度
今同の分に御漏れの向は次回に願ふ豫定に候間此の點豫め御含み置
願上候

先は特別修練會御參加御勸めの御案内迄如斯に御座候

追而御參加決定の方には後日御注意の諸事項可申上爲念申添候

敬 具

昭和十六年七月四日

大政翼贊會中央訓練所所長 八角三郎

外務次官
大 橋 忠 一 殿

伊吉川紙乙號 (B5 16.5-50.000) 水野精



別紙

特別修練會開催要綱

一 期 日 昭和十六年八月二日ヨリ八月六日迄

一 會 場 神奈川県箱根舊街道須雲

日本精神修養道場

一 參會者範圍

官界、政界、軍人、學界、教育界、文藝界、操觚界、
財界、大政翼贊會本部幹部、民間主要團體幹部、其ノ他、

一 員 數 六十名

一 講習科目

イ、視行指導、早稻田大學教授 出石誠彦

ロ、學 科



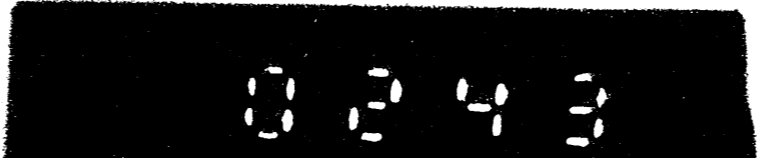
國 體 論 神宮奉齋會々長 今泉定助

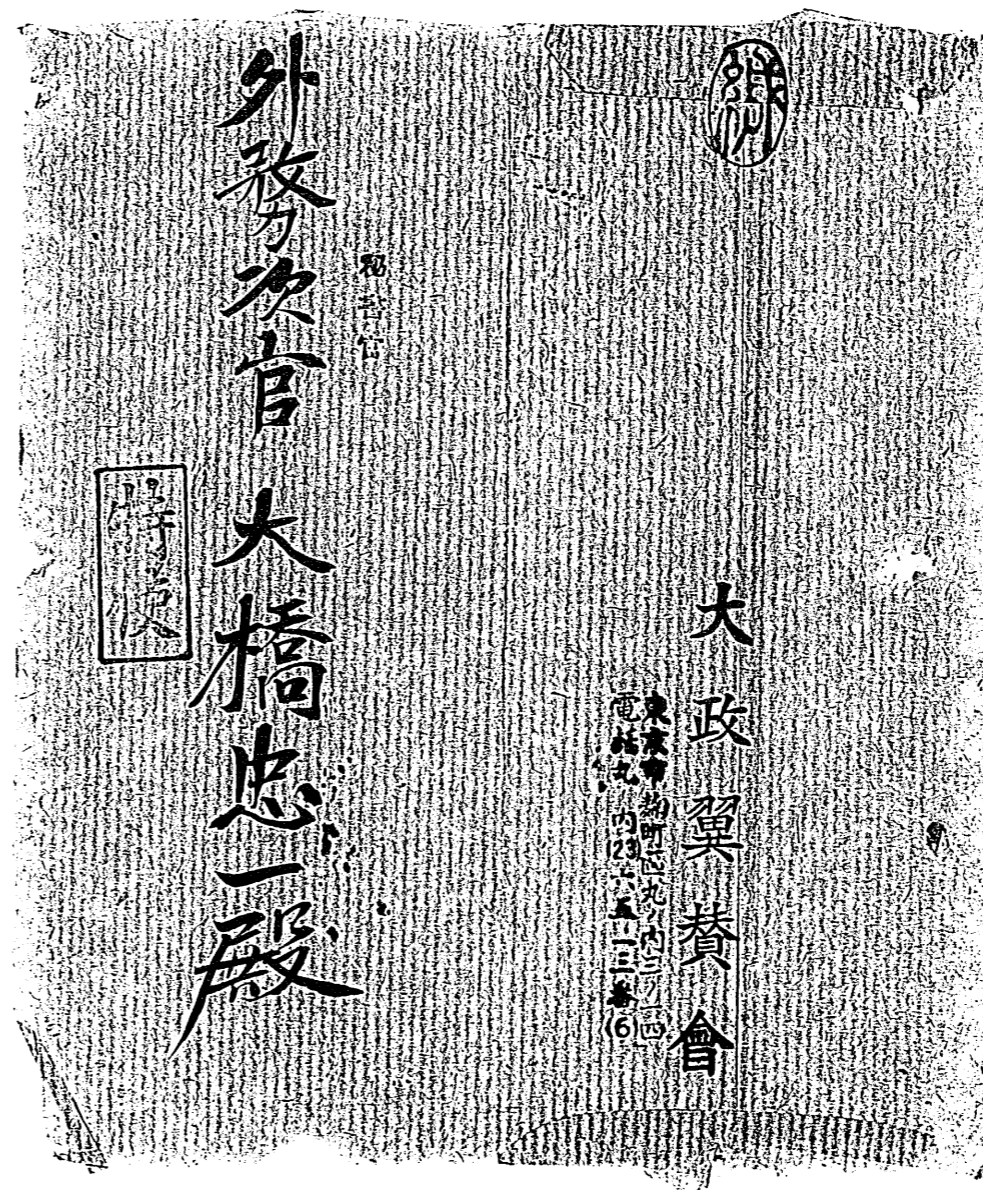
祭 祀 東京帝大教授文學博士 宮地直一(交渉中)

日本生命觀 早稻田大學教授 出石誠彦

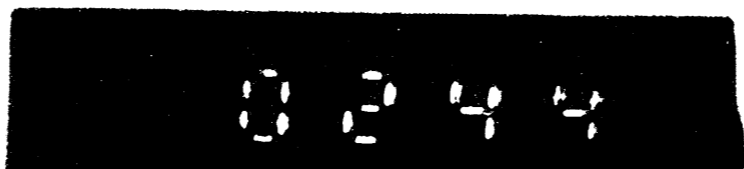
一 宿泊料及食費

本會ノ負擔トス





REEL No. A-0509



文書課長

文書課發送

昭和拾六年七月廿貳日發送済

淨書

(原稿)

正校

(原稿)

(淨書)

昭和16年7月22日起草

主 任

調査部第五課長

機密 第半公債 號

昭和拾六年七月廿貳日附

附屬

受

大政翼賛會東亞局

人 林澤 庶務部長

田代 兼事務官

名 件 録 記

名 件

大東亞共榮圈講習会之開スル件

拜啓 陳者大政翼賛會主催外務省後援

大東亞共榮圈建設講習会ハ輸送關係

(分類 A.5.0.7)

公 信

外 務 省

中七中五九州

地方三府天同類

ノリ方改地方講習会ヲ以テ一時中止ト相成スル也
内外ノ情勢ニ鑑ミ同趣旨ノ終業活動ヲ続行

スル事ハ喫緊ノ要事ト認メテ付テハ右再南

ニ至ル迄ハ小規模ナル縣別懇話会ヲ開修スル様

以テ此致得貴意候

敬具

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

22 89

(記)

分類 1500

昭和 年 月 日

外務省御中

拜啓
 御承知の如く刺下強固なる國內態勢の要求せらるゝ折柄翼賛運動も其の後極めて真剣なる活動を展開しつつあるは皇國の爲め眞に御同慶の至りと存候
 陳者豫而御高配を相煩居候當支部事務局開設の計畫に就ては關係各官公廳並に各位の絶大なる御支援御協助によりこの程準備完了し七月一日を以て左記場所にて開設の運びと相成候
 これ偏に各位の熱誠なる御助力の賜と厚く感謝の意を表し候
 なほ今後とも從來以上に御指導御鞭撻の程懇願仕り候
 先は取敢へず書面を以て御挨拶まで如斯御座候 敬具

昭和十六年七月

大政翼賛會東京府支部
 庶務兼組織部長 西 田 福 次 郎
 事務局 麹町區九ノ内三丁目一番地
 電話九ノ内四〇一八—〇一九五番
 府立前工學勸館二階

秘

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 儀典 人典 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和16 二三九七六 略

太原 八月八日前發 本省 八日後着

亞

豐田外務大臣

第九一號

田中總領事

目下本官指導ノ下ニ民間ヲ中心トシテ全居留民ノ翼贊運動體制立案中ニシテ不遠實現ノ運ヒニ至ルヘキ處北京參事官ヨリノ内報ニ依レハ北支蒙疆各地ニ於ケル本運動ニ對シ本年度大體十五萬圓程度ノ補助金支出方本省ニ於テ考慮シ居ル趣ナルカ右ハ當地ノ分トシテ如何程ニ御詮議ヲ受ケ得ル見込ナリヤ今後ノ指導上豫メ承知シ置キタク何分ノ儀御回電アリタシ
北大へ轉電セリ

外務省

秘

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 儀典 人典 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和16 二四七三五 略

太原 八月十四日後發 本省 十四日夜着

亞

豐田外務大臣

第九三號

土田參事官へ

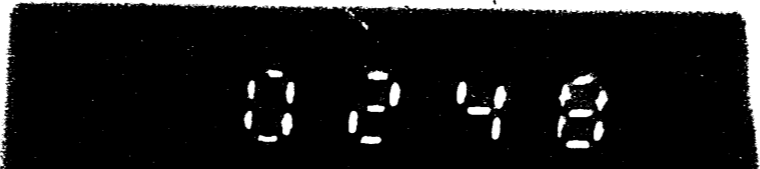
田中總領事

本官發大臣宛電報第九一號ニ關シ
當地ノ翼贊運動體制確立方ニ關シテハ民間ヲ指導シ折角立案中ニテ九月一日發足ノコトニ略内定シ居ル處發ニ貫官ヨリ内報アリタル本運動ノ補助金ハ其ノ後難色アリヤニ聞及ヒタルモ既ニ石門へハ一萬圓程度補助セラレタル先例モアリ當地トシテハ豫算八萬二千圓ノ内一萬五千圓ノ補助金ヲ豫定シ本官モ之迄多少「コミット

外務省

シ居ル立場モアルニ付右ハ是非共支出相成様特ニ御幹旋願度シ
張店へ轉電セリ

外務省



秘

電信課長

大臣

次 東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 祕書官

寫送先

昭和16 五七四七〇 略 北京 十月十七日後發 亞 本省 十七日後着

豐田外務大臣

土田參事官

第六七八號

本官發青島宛電報

第一一八號

賁電第一八九號ニ關シ

華北各地中既ニ運動ノ推進隊タルヘキ青年組織ヲ有スル地方鮮カラサル處右地方ニ於テハ差當リ之ヲ育生強化スル事ニ依リ事實上ノ推進隊タラシメ得ヘキヲ以テ特ニ本件壯年團ノ必要ナルヘク未タ其ノ組織ナキ地方ニ限リ本件壯年團ヲ組織スル事ト致シ度ク

外務省

就テハ賁地ニ於テ本件結成ノ要アルニ於テハ各地青年隊組織ニ準シ且ツ基本要項御參照ノ上適宜御決定相成リ結果報告アリタシ
北支各總領事、領事及大臣、上海へ轉電セリ

外務省

秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 AS.OC.11

昭和16 三四五五三 略 太原 十一月十二日 後發 亞 本省 十二日後看

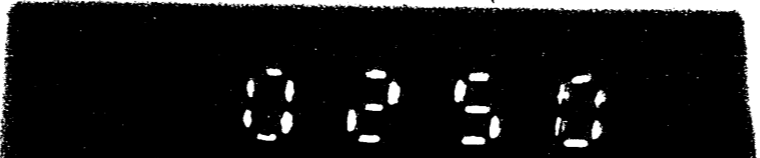
東海外務大臣 田中總領事

第一一九號

來月八日ヨリ開催セラルヘキ大政翼賛運動中央協力會議ニ當地翼賛運動本部長(民間長)ヲ「オブサーバー」トシテ列席セシメ度キ希望申出テタル處差支無キヤ關係方面ト御協議ノ上結果何分ノ儀回電アリ度シ(了)

大政翼賛運動係録中

外務省



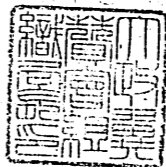
文書課長

編地第二號

昭和十七年一月十四日

大政翼賛會組織部長 挾 間 茂

山岸 偉一



課書文
17.1.15
受收

翼賛壯年團ニ關スル件

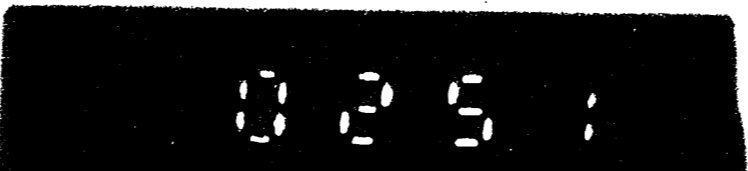
豫而御配意相煩シ居リ候標記ノ件ニ關シテハ既ニ着々結成ヲ推メ
二月中旬迄ニハ全國各道府縣團ノ結成ヲ完了スルノ趨勢ニ有之候
處時局ニ鑑ミ全國一體組織トシテ強力ナル指導體制確立ノ要ヲ認
メ此ノ際一氣ニ全國團ノ結成ヲ圖ルコトト相成關係方面ト協議ノ
上一應ノ成案ヲ得ルニ至リ候ニシテキコレニ關シ詳細協議シ度左
記ニ依リ連絡官會議開催スルコトニ相成候條高層綜合セ御出席相
候シ度此段及御依頼候也

A5000

記

日 時 一月十五日午前十時ヨリ

二會 場 舊翼賛會本部總務局長室(東京會館二階)



電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 弘報 調查 南洋 人典 儀典 文書 會計 會計 秘書官

寫送先

秘

分類 15.0.0.4

昭和17 五一六〇五 略
北京 三月二日後發
本省 二日夜着

土田參事官

第一九四號

(翼贊運動補助金ニ關スル方針問合セノ件)

十七年度ニ於ケル翼贊運動ノ補助金ニ關シ各公館ヨリ夫々問合ハ
セノ次第モアリ各民間新豫算編成ニ際シ行政部トシテモ一應ノ指
示ヲ要スヘキニ付補助ニ對スル大體ノ御方針ニテモ豫メ承知致シ
タ迄何分ノ儀御回電ヲ請フ(了)

外務省

秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 弘報 調查 南洋 人典 儀典 文書 會計 會計 秘書官

寫送先

分類 15.0.0.4

昭和17 五四八四八 略

上海 六月六日後發
本省 六日夜着

亞、會

東郷外務大臣

第六一號

(翼贊運動助成費ニ關スル件)

本年度中南支各地ニ對スル翼贊運動助成費ニ關シテハ目下當館ニ
テ腹案作成中ニテ大體八萬圓程度支出方希望シ居レル處本件補助
支出ノ見込竝ニ其ノ金額等本官含迄ニ御回電請フ(了)

外務省

電信寫

祕

分 類 15.0.0. <

號 番 總

二〇四二八

號 符

略

昭和十七年六月九日午後六

時 卅

分

符 亞 三

三

在上海 堀内公使

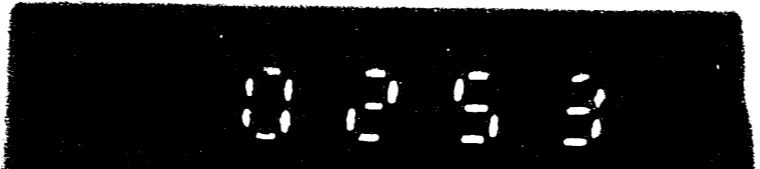
東郷外務大臣

興費運動助成費ニ關スル件

第四九號

貫電第六一號ニ關シ

貫官腹案内容概略同電アリタシ



文書課長

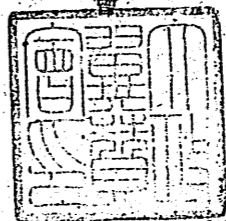
總庶第八四號

昭和十七年六月十二日

大政翼贊會

昭和拾七年六月拾參日接受

文書課長 殿



記

運動規約、事務局職制、調査會規程送付ノ件

昭和十七年六月十日付改正ノ大政翼贊會運動規約、並新ニ制定サレタル事務局職制及調査會規程御送付申上候也
追而昭和十六年四月改正ノ大政翼贊會事務局職制及調査委員會職制ハ廢止被致候ニ付爲念

(分類) 0.0.4

大政翼贊運動規約改正 (昭和十七年六月十日)

- 一 第十一條中「調査委員會」ヲ「調査會」ニ改ム
- 二 第十四條第一項中「局所」ヲ「局」ニ改メ第二項ヲ左ノ如ク改ム
「局ニ局長ヲ置ク」
- 三 第十五條第一項ヲ左ノ如ク改ム
「事務總長、參與及局長ハ總裁之ヲ指名ス」
- 四 第十六條第一項中「調査委員會」ヲ「調査會」ニ改メ第二項以下ヲ左ノ如ク改ム
「調査會ニ會長ヲ置ク調査會ヲ統理ス
調査會ニ委員及幹事ヲ置ク
會長委員及幹事ハ總裁之ヲ指名ス其ノ任期ハ一年トス但シ再指名ヲ妨
グズ」
- 五 第十七條中「局所」ヲ「局」ニ改メ「調査委員會トアルヲ「調査會」ニ改ム
- 六 第十九條中「事務總長」ノ次ニ「調査會長」ヲ加フ

大政翼贊會事務局職制

(昭和十七年六月十日)

第一條 事務總長ハ總裁及副總裁ノ監督ノ下ニ於テ中央本部ノ事務ヲ統

理ス

第二條 事務局ニ左ノ五局及統制委員會ヲ置ク

總務局

録成局

實踐局

興亞局

調査局

第三條 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 庶務、文書、人事及會計經理ニ關スル事項

二 各局所管事務ノ綜合企畫、連絡調整並ニ諸団体等ノ統制ニ關スル事項

三 翼贊運動ノ周知、宣傳並ニ上意浸透狀況及民情查察ニ關スル事項

四 協力會議ニ關スル事項

第四條 録成局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國民思想ノ統一ニ關スル事項

二 録成ノ企畫並ニ録成施設ニ關スル事項

三 國民ノ一般的録成並ニ國防技術ノ録成ニ關スル事項

第五條 實踐局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 各級支部ノ指導監督ニ關スル事項

二 地域、職域組織ノ統整整備強化ニ關スル事項

三 政治、經濟、厚生、文化等國民生活ノ指導刷新ニ關スル事項

四 國民生活相談所ニ關スル事項

第六條 興亞局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 興亞理念ノ普及徹底並ニ興亞運動ノ綜合企畫ニ關スル事項

二 興亞國策ニ關シ内外ノ連絡指導ニ關スル事項

第七條 調査局ニ於テハ調査會ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條 統制委員會ハ關係諸団体等ノ統制運営ニ關スル事項ヲ審議ス

統制委員會ノ構成、所掌事項其ノ他統制委員會ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 局長ハ總裁、副總裁及事務總長ノ命ヲ承ケ所掌事項ヲ掌理ス

第十條 參與ハ事務總長ノ要請ニ應ジ重要局務ニ參畫ス
第十一條 總務局ニ左ノ五部ヲ置ク

總務部
會計部
企畫部
宣傳部
協力會議部

第十二條 總務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 庶務、文書、人事ニ關スル事項
- 二 各局部所管事務ノ連絡調整ニ關スル事項
- 三 他局部ニ屬セザル事項

第十三條 會計部ニ於テハ會計經理ニ關スル事務ヲ掌ル

- 第十四條 企畫部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 綜合企畫ニ關スル事項
 - 二 各局部所管事務ノ審議ニ關スル事項
 - 三 統制委員會ニ關スル事項

第十四條 外郭団体ノ指導統制ニ關スル事項

第十五條 宣傳部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 翼賛運動ノ周知、宣傳ニ關スル事項
- 二 内外ノ情報蒐集ニ關スル事項

第十六條 協力會議部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 協力會議ニ關スル事項
- 二 上意浸透狀況及民情查察ニ關スル事項

第十七條 録成局ニ左ノ三部ヲ置ク

思想部
施設部
録成部
第十八條 思想部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 國體精神ノ昂揚ニ關スル事項
- 二 國民思想ノ統一ニ關スル事項

第十九條 施設部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 録成ノ企畫ニ關スル事項

- 二 鍊成施設其ノ他庶務ニ關スル事項
- 第二十條 鍊成部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 國民ノ一般的鍊成ニ關スル事項
 - 二 國防技術ノ鍊成ニ關スル事項
 - 三 指導者ノ鍊成ニ關スル事項
- 第二十一條 實踐局ニ左ノ四部ヲ置ク

組 織 部
經 濟 部
厚 生 部
文 化 部

- 第二十二條 組織部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 各級支部ノ指導監督其ノ他庶務ニ關スル事項
 - 二 地域、職域組織ノ統轄及地域組織ノ指導ニ關スル事項
 - 三 國民生活ノ指導刷新ニ關スル事項
 - 四 選舉刷新ニ關スル事項
 - 五 國民生活相談所ニ關スル事項

第二十三條 經濟部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 經濟機構ノ整備強化ニ關スル事項
- 二 貯蓄奨励、物資節約及回收ニ關スル事項

第二十四條 厚生部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 健民運動ニ關スル事項
- 二 厚生機構ノ整備強化ニ關スル事項

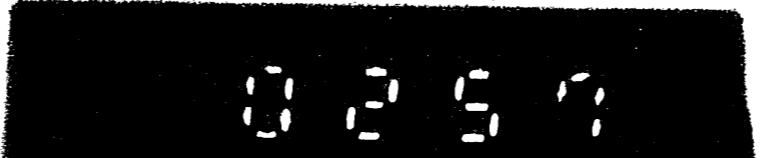
第二十五條 文化部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 文化運動ニ關スル事項
- 二 文化機構ノ整備強化ニ關スル事項

第二十六條 興亞局ニ左ノ三部ヲ置ク

庶 務 部
企 畫 部
連 絡 部

- 第二十七條 庶務部ニ於テハ庶務ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第二十八條 企畫部ニ於テハ興亞理念ノ普及徹底並ニ興亞運動ノ綜合企畫ニ關スル事務ヲ掌ル



第二十九條 連絡部ニ於テハ與亞國策ニ關シ内外ノ連絡指導ニ關スル事務ヲ掌ル

第三十條 調査局ニ左ノ三部ヲ置ク

第一、部

第二、部

第三、部

第三十一條 第一部、第二部及第三部ハ調査會ニ關スル事務ヲ分掌ス

第三十二條 部ニ部長、副部長及部員ヲ置ク

部長ハ事務總長及局長ノ命ヲ承ケ事務ヲ統括ス

副部長ハ部長ヲ佐ケ部務ヲ整理ス

部員ハ部長ノ命ヲ受ケ部務ヲ分掌ス

部長、副部長及部員ハ總裁之ヲ命ズ

第三十三條 部ニ書記ヲ置ク

書記ハ上長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

書記ハ事務總長之ヲ命ズ

第三十四條 局又ハ部ニ囑託ヲ置クコトヲ得

囑託ハ特定ノ事務ニ從事ス

囑託ハ事務總長之ヲ委嘱ス

第三十五條 部ニ班ヲ置クコトヲ得

班ノ各所掌事項其ノ他班ニ關シ必要ナル事項ハ事務總長ノ定ムル所ニ依ル

「大政翼賛會事務局及調査委員會職制」ハ之ヲ廢止ス

大政翼賛會調查會規程 (昭和十七年六月十日)

- 第一條 調查會ハ總裁ノ監督ノ下ニ於テ其ノ要請ニ依リ大政翼賛運動ノ目的達成上必要ナル事項ヲ調査審議ス
- 第二條 調査會ハ委員會ニ分チ之ニ委員及幹事ヲ分屬セシム
各委員會ノ名稱、所掌事項、所屬委員及幹事其ノ他調査會ニ關シ必要ナル事項ハ總裁ノ定ムル所ニ依ル
- 第三條 各委員會ニ委員長一名ヲ置ク
委員長ハ委員中ヨリ總裁之ヲ指名ス
- 第四條 委員長ハ委員會ヲ總理シ會議ノ議長トナル
委員長專故アルトキハ委員長ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス
- 第五條 各委員會ハ必要ニ應ジ小委員會ヲ設クルコトヲ得
- 第六條 事務總長、局長及部長ハ調査會ニ出席シ説明ヲ爲シ又ハ意見ヲ述ブルコトヲ得

- 第七條 幹事ノ内一名ヲ幹事長トシ調査局長ヲ以テ之ニ充ツ
幹事ハ事務局職員中ヨリ總裁之ヲ命ズ
幹事長及幹事ハ調査會ノ庶務ヲ整理ス
- 第八條 調査會ニ書記若干名ヲ置ク
書記ハ事務局職員中ヨリ總裁之ヲ命ズ
書記ハ庶務ニ從事ス

「調査委員會規程」及「調査委員會事務連絡委員會規定」ハ之ヲ廢止

電信課長

秘

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 弘報 調查 南洋 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和17 五五〇四九 略

上海 六月十三日後發
本省 十三日夜着

亞

東郷外務大臣

堀内公使

第六二號

(翼贊運動助成費ニ關スル件)

貴電第四九號ニ關シ

一、上海總力報國會ニ對スル補助五萬圓

上海總力報國會ハ本年一月成立以來在留邦人ノ啓蒙、各種翼贊運動ノ展開等極メテ旺盛ナル活動ヲ爲シ着々成果ヲ擧ケツツアル處同會本年度豫算ハ當初十五萬圓餘ヲ見積リ全部民團補助ヲ以テ賄フ豫定ナリシカ其ノ後事業ノ擴大ニ伴ヒ約五萬圓ノ不足

外務省

2

ヲ生シ之カ捻出ノ途無ク困却シ居ル次第ナリ同會ハ北支ニ於ケル翼贊會ト多少趣ヲ異ニシ會長本官、事務局長、島田領事、常任幹事三名中ノ一名ハ中根領事ナル等總領事館ノ指導的立場極メテ著シク且從來兎角自由主義的傾向強カリシ當地在留邦人ヲ啓蒙指導スル意味合ニ於テ本年度ニ於ケル同會ノ活動ハ一般官民ノミナラス軍側ヨリモ期待セラレ居ル次第ナルニ付當館ヨリ右不足額ヲ補助シ所期ノ目的達成ニ遺憾無カラシムル様致度シ(報國會ニ關スル報告ハ未提出ナリシニ付別途至急報告ス)

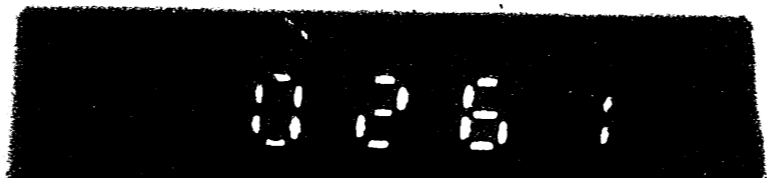
三、中南支各地ニ對スル補助

中南支各地ニ對スル補助ニ付テハ各地ニ於ケル翼贊運動ノ狀況未タ詳細判明シ居ラサル爲具體的ニ決定シ難キモ大體左記程度

外務省

補助支出致度シ
南京、漢口、廣東、厦門各五千圓其ノ他公館所在地計一萬圓合
計三萬圓（了）

外
務
省



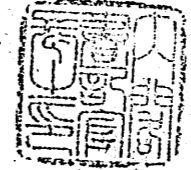
人事課長

内閣閣甲第二六六號

次官

昭和十七年六月二十三日

内閣書記官長 星野直樹



昭和拾七年六月廿四日接

東亞局長
歐亞局長
栗利加島
南洋局長
通商局長
條約局長

外務大臣 東郷茂徳殿

調査部長
國民運動團體ノ統制ニ關スル件別紙ノ通閣議決定相成候條命ニ依リ

秘書官

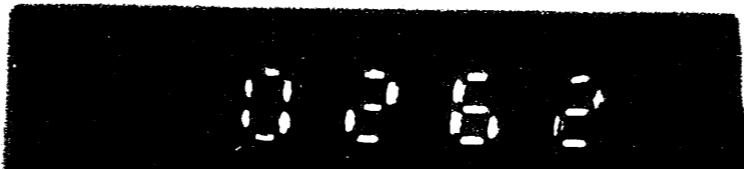
儀典課長

文書課長

會計課長

電信課長

通



秘

國民運動團體ノ統制ニ關スル件

本年五月十五日閣議決定「大政翼贊會ノ機能刷新ニ關スル件」ニ基キ
取敢ヘズ左ノ事項ヲ決定實行スルモノトス

一各團體ノ組織ニ關スル件

(一)中央機構ニ關スル件

中央機構ニハ變更ヲ加ヘズ各省大臣ガ各團體ノ總裁又ハ團長タ
ルコトハ此ノ際取り止ムルコト

(二)推進組織ニ關スル件

産業報國青年隊、農業報國聯盟増産報國推進隊、商業報國推進
隊等ノ組織ニ付テハ大政翼贊會推進員及大日本翼贊壯年團等
ノ調整ヲ圖ルト共ニ其ノ機能ヲ充實スルノ要アルヲ以テ之等ニ

付テハ別途考究スルコト

(備考)地方機構ノ調整ニ付テハ別途考究スルコト

ニ指導監督ニ關スル件

(一)監督ニ關スル件

大政翼贊會ニ對スル監督ハ内閣總理大臣之ニ當ルコト

(二)指導ニ關スル件

大政翼贊會ノ傘下ニ加入スル各團體ノ指導ニ關シテハ關係主管
大臣ハ大政翼贊會ヲ通ジテ之ヲ指導スルコト 但シ其ノ運営ニ
當リテハ關係各省並ニ各官廳ト大政翼贊會トノ間ニ適切ナル連
繫ヲ保持シ各團體ノ機能發揮ニ支障ナカラシムル様考慮スルコト
三豫算ニ關スル件

(一) 豫算ノ編成及交付ニ關スル件
各團體ニ對スル補助金ハ昭和十八年度以降大政翼贊會ノ豫算トシテ一括シテ計上シ各團體ニ對シテハ大政翼贊會ヨリ之ヲ交付スルコト
尙昭和十七年度豫算ニ關シテモ大政翼贊會ヲ通ズル様適宜ノ措置ヲ講ズルコト

(二) 各省豫算ノ執行ニ關スル件
各省豫算中各團體ヲシテ實施セシムル事業費ハ大政翼贊會ヲ通ジ從來通り之ヲ交付スルコト

(三) 地方費豫算ニ付テモ前各號ニ準ジテ取扱フコト
四 人事ニ關スル件

(一) 各團體首腦部役員ノ委嘱、解嘱、任免ニ關スル件
特別ノ事情アルモノヲ除キ各團體ノ會長（團長）、副總裁、副會長（副團長）、理事長、理事、地方支部長ノ委嘱、解嘱、任免ハ大政翼贊會總裁之ヲ行フモノトスルコト

(二) 役員ノ相互兼任ニ關スル件
大政翼贊會ト參加團體トノ間ニ役員ヲ兼任セシメ常時連絡ヲ圖ルコト

(三) 人事交流ニ關スル件
大政翼贊會ト傘下各團體トノ連絡ヲ一層緊密ナラシムル爲必要ニ應ジ人事ノ交流ヲ行フコト
五 統制委員會ニ關スル件

- (一) 大政翼贊會ノ統制委員會ハ内閣並ニ關係各省官吏、大政翼贊會各局長、大日本翼贊壯年團本部長、大日本興亞同盟理事長及參加各團體ノ理事長又ハ之ニ相當スル者ヲ以テ組織ス
- (二) 統制委員會ハ關係諸團體ノ統制運営ニ關スル事項ヲ審議ス
- (三) 統制委員會ノ委員長ハ大政翼贊會事務總長之ニ當ル
- (四) 統制委員會ニ幹事ヲ遣ク
- 幹事ハ内閣並ニ關係各省官吏、大政翼贊會關係局部長及各團體關係職員ヲ以テ之ニ充ツ
- 幹事長ハ大政翼贊會總務局長ヲ以テ之ニ充ツ
- (五) 幹事ハ統制委員會ニ付議スベキ事項ヲ調査立案ス

秘

電信寫

分類 A 5.0.0. 44

號 番 二 三 四 〇 八

符 略

昭和十七年七月三日午後八時

分 三 主 原 二 通 三

在北京 土田參事官

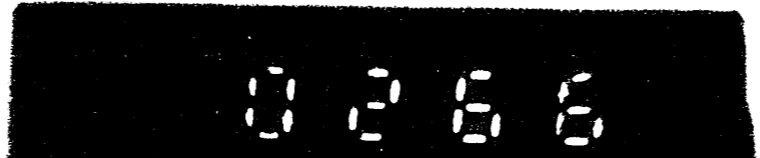
東郷外務大臣

皇國ニ於ケル國民組織ニ關スル件

第四九五號

實電第五五五號ニ關シ

真方ノ在支邦人ノ國民運動指導ニ關スル案ハ現地ノ陸、海、外、
興ノ官廳ヲ以テ構成スル機關ヲ以テ在支邦人ノ國民運動ノ指導暨
督ニ當ラシメ其ノ下ニ上意下達、下意上達及團體相互間ノ連絡調
整等ノ事務ヲ處理スルタメ民間、國策會社其他之ニ準スル團體ノ
中堅邦人ヲ以テ協議會ヲ組織セシメ該協議會ノ下ニ民間等ノ地域



電信寫

(分類)

秘

組織及國策會社其他之ニ準スル團體ノ組織ヲ配シ以テ國民運動實踐ノ中核體トナサントスルモノコシテ同調査官ハ豫テヨリ熱心ヲ研究ヲ進メ居ル處本案ハ本年三月連絡部長官會同ノ席上ニ於テ政務部第二課試案トシテ紹介セラルル程度コト未タ與亞院案トシテモ確定セラルモノコトアラサス當方ニ對シテ未タ正式連絡ナキ次第ナルカ本案カ民間ト國策會社ト併列的地位ニ置キ更ニ陸、海、外、興ノ合議機關ノ指導監督下ニ置カントスル等ノ點ニ於テ極メテ不合理且現實ノ障礙ニ即セサルモノアリ慎重検討ヲ要スルモノト認メ居レリ

南大、在支各總領事へ轉電セリ

線 番 號
二三四〇九
二三四一一

符 號
昭和十七年七月三日午後九時

分 鐘
二
三

南大
在支各總領事（北京總領事、
南京總領事ヲ除ク）

東郷外務大臣

皇國ニ於ケル國民組織ニ關スル件

合第一二三七號

大臣發北大宛電報第四九五號

秘

電信課長



大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 弘報 調查 南洋 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

(分類 451.0.4)

昭和17 二〇五五五 略

太原 七月二十七日發
本省 二十八日前着

亞

東郷外務大臣

田中總領事

第一〇八號

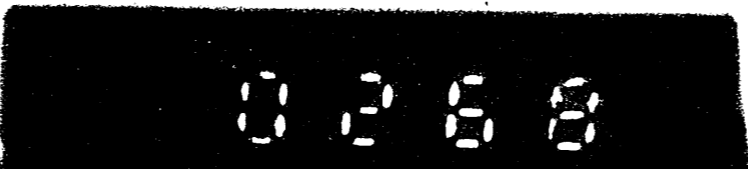
(翼贊運動ニ關スル決議ノ件)

當地翼贊運動本部ニ於テハ二十六日第三回協力會議ヲ開キ「日常生活ニ關聯セル科學知識普及ニ關スル件」以下二十二議案ヲ議了セルカ其ノ際滿場ヲ以テ東條總裁宛皇軍ニ對スル感謝竝ニ聖業完遂ニ關シ打電方決議セリ

委細郵報

北大へ轉電セリ

外務省



分類 A500.4



外務大臣 東郷茂徳殿

大政翼賛會及關係諸團體ノ地方機構ノ調整ニ關スル件別紙ノ通閣議決
定相成候條命ニ依リ通牒ニ及ビ候

内閣閣印第三二二號

昭和十七年七月二十八日

内閣書記官長 星野直樹



昭和拾七年七月廿八日

杉本

大政翼贊會及關係諸團體ノ地方機構ノ調整ニ關スル件

一 概要

- (一) 大政翼贊會ノ傘下ニ收メラレタル各團體ノ道府縣組織ハ其ノ組織ヲ存續シツツ大政翼贊會道府縣支部ノ傘下ニ入ルモノトス
- (二) 各團體ノ事務局ハ之ヲ存置スルモ大政翼贊會道府縣支部事務局ヲ中樞トシテ緊密ナル連絡統制ヲ圖ルモノトス
- (三) 海報ニ就テハ別途考慮ス

二 豫算

- (一) 各團體ニ對スル道府縣ノ補助金並ニ道府縣豫算中各團體ヲシテ實施セシムル事業費ニ關シテハ六月二十三日閣議決定ニ依ル
- (二) 各團體ニ對スル當該團體中央部ノ補助金ニ對シテハ從前通りトス

三 人事

- (一) 各團體ノ幹部ノ委嘱、解嘱、任免ハ大政翼贊會總裁ノ行フモノヲ除キ大政翼贊會道府縣支部長之ヲ行フ。但シ特別ノ事情アル團體ニ就テハ此ノ限りニ非ズ

- (二) 大政翼贊會道府縣支部ト傘下各團體トノ間ニ人事ノ兼務並ニ交流ヲ行ヒ常時連絡ヲ緊密ナラシムルモノトス

四 地方統制委員會

- (一) 大政翼贊會道府縣支部ニ地方統制委員會ヲ設ク
- (二) 地方統制委員會ハ大政翼贊會道府縣支部長ニ直屬シ支部關係諸團體ノ統制運営ニ關スル事項ヲ審議ス
- (三) 地方統制委員會ハ道府縣關係部長、大政翼贊會支部首腦役員、道府縣翼贊壯年團本部長、關係各團體ノ民間側首腦者其ノ他大政翼贊會道府縣支部長ニ於テ必要ト認ムル者ヲ以テ組織ス
- (四) 地方統制委員會ノ委員長ハ大政翼贊會道府縣支部長之ニ當ル
- (五) 統制委員會ニ幹事ヲ設ク
幹事ハ道府縣關係課長、大政翼贊會道府縣支部關係職員及各團體關係職員ヲ以テ之ニ充ツ
- (六) 幹事長ハ大政翼贊會道府縣支部事務局部長ノ一人ヲ以テ之ニ充ツ
- (七) 幹事ハ統制委員會ニ附議スベキ事項ヲ調査立案ス

秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 弘報 調查 南洋 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和17 五七〇九七 略

北京 八月二十六日後發
本省 二十六日夜着 亞

東郷外務大臣

北澤總領事

第一四四號

(内原及中央訓練所等規定送付方ノ件)

當地翼贊會ノ事業計畫ニ資シ度キニ付内原、中央兩訓練所竝ニ女子青年訓練所等規定ヲ取纏メ空送アリタシ(了)

外務省

實組第一四〇號

昭和十七年八月卅一日

連署官

大政翼贊會實踐局組織部長 秋葉保廣

岸 偉 一 殿

實組第一二〇號中訂正ノ件

八月二十八日付實組第一二〇號「地方支部機能ノ刷新並ニ支部規程改正ニ關スル件」中別紙(四)ノ三幹事ノ項中語植有之候ニ付左記ノ通訂正相成度

記

- 一、各團體職員
- 二、青少年團(事務局部長中ノ一名)

調一第四四號

昭和十七年八月卅一日

大政翼贊會調查會長

岸 偉 一 殿

調査會各委員會第一回會議開催ノ件

調査會各委員會第一回會議ヲ別紙ノ通開催可致候條御出席相成度此段及御通知候也

調査會各委員會第一回會合開催日程表

一月日	午前	午後
九月二日(水)	第二	第三
三日(木)	第八	局一七六二七
四日(金)	第四	
五日(土)	第十	
七日(月)	第六	
八日(火)	第九	
九日(水)	第五	第七

二時刻 午前八正十時開始
午後八正一時半開始

三場所 大政翼贊會總務室

備考 第一委員會未定追報不

謹啓 益々御清静之聲奉慶賀候
陳者今般大政翼贊會の機能刷新に伴ひ調査局並に調査會の新設と相成
り既に別添調査會關係資料の通り調査會運営方針の決定と共に調査會
委員の委屬も完了致し茲に調査會各委員會を問催致すことと相成候處
舊來通り貴省(廳)關係の調査上に付格別の御便宜御支援相賜度
先は御依頼旁々御挨拶申述度如斯御座候

昭和十七年九月五日

大政翼贊會事務總長 後 藤 文 夫

岸 偉 一 殿



敬 具

記

謹啓 念々御清秘之段奉賀上候
陳者豫てより第三回中央協力會議開催に付種々御高配賜り奉深謝候
就而尙一層政府側關係官の御協力を相仰ぎ會議運営に萬遺憾なきを
期し度候條左記に依り連絡官の御會同を願ひ會議運営の具體的事項
につき御打合致度候に付公務御繁忙の折柄洵に恐縮に存候得共萬障
御差繰の上御出席相煩度此段御案内申上候

昭和十七年九月十八日

敬具

大政翼賛會事務總長 後藤 文夫

連絡官 殿

分類 A5.00.9

記

一日 時 昭和十七年九月二十二日 午前十一時

一場 所 本部第二會議室

追而萬一御差支有之候は、代連官の御出席願上度乍御手數御出
席の有無御一報相煩度候

去席

秘

電信寫

分類 A5.0.0.4

番 號

三五〇三九

符 號

略昭和十七年十月九日 午後六時

分 區 三

管 主

在 張 家 口 渡 邊 總 領 事

谷 外 務 大 臣

翼 贊 運 動 補 助 申 請 ニ 關 ス ル 件

第 二 五 二 號

貴 信 普 通 第 八 一 一 號 ニ 關 シ

補 助 申 請 書 目 附 タ 八 月 中 ニ 改 メ (九 月 下 旬 往 電 合 第 一 七 七 六 號 參

照) 折 返 シ 送 付 ア リ タ シ

秘

大臣
次官

顯政通條人儀文會秘弘
間務商約查事典書計官報

寫送先

(分類 5.00.4)

電信課長

陸軍部 三二一五號

太原 十二月十七日發
本館 十八日發

谷外務大臣

第一七九號

田中啓

(居留民爲該運動補助金運用ニ關スル件)

在支居留民爲該運動補助金運用ニ關シ員配合第一七七七號發受シ

居ラサルニ付必要事項示ノ上右電復度シ(了)

外務省

電信寫

分類 A.S.O.O.K.

秘

線
番
四
一
五
七
七

符
略

昭和十七年二月十八日 後七時

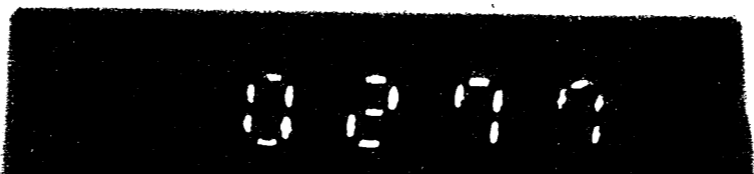
分
管
主
政
二

在太原 田中總領事

居留民興實運動補助金運用ニ關スル件

谷外務大臣

本大臣發在支總領事宛電報合第一七七七號



昭和十八年一月三十日實厚第二六號
國民皆働協議會開催要領

國民皆働協議會ニ於テハ左記ノ如キ關係方面ノ主務者ヲ招請シ、地方ノ實狀ニ應ジテ國民皆働運動ノ實施ニツキ具體的事項ヲ協議スルコト

(1) 道府縣ノ國民皆働協議會ニ於テハ
道府縣廳、國民職業指導所、軍關係廳（聯隊區司令部、海軍入事部、運輸部、軍需部、作業廳等）ソノ他關係廳、學校、國民運動諸團體（大日本翼壯年團、大日本產業報國會、日本海運報國會、大日本婦人會、大日本青少年團、商業報國會、農業報國聯盟）勞務報國會、農會其ノ他ノ關係方面

(2) 市區町村ノ國民皆働協議會ニ於テハ
道府縣協議會ニ準ジ該地方ノ事情ニ應ジテ關係官公廳、農會其ノ他ノ關係諸團體、學校、町内會長、部落會長、其ノ他關係方面

(3) 右協議會ニ於テハ國民皆働運動ノ實施要綱ニ示シタル實施要項ノ實行ニツキ協議スルモノトス。
特ニ勤勞報國隊ノ擴充強化並ニ其ノ勤勞作業ノ企畫整備ハ時局下喫緊ノ要務ニツキコレニ關シテ至急協議實行ヲナスコト

例ヘバ開墾、掘立、排水、干拓、墾肥、土木、造林、製炭、農築期諸作業、製鹽、築磯、磯掃除及運送並ニ工場鑛山海運等ニ於ケル適當ナル作業、其ノ他生産保護ノ各種業務等ノ戰爭遂行ニ必要ナル作業ニ出動シ、各種最大ノ效果ヲアゲ且ツソレヲ國民鍊成上有效ナラシムル様、各勤勞報國隊ノ性質能力ニ應ジテ適切ナル方面へ出動セシムルコトニツキ協議懇談スルコト

(2) 業種別、地域別勤勞報國隊ノ促進ニツキ協議スルコト
例ヘバ理髮職、大工、左官、木挽、荷馬車曳、運轉手、飲食業、被前料理人、菓子屋、酒屋等ノ業種別勤勞報國隊組織ノ編成ヲ促進スルコト

(3) 特ニ勤勞報國隊ノ活動ニ關シ出動側ト招請側トノ十分ナル協議ヲ遂ゲルコト

三 (1) 勤勞報國隊招請事業

軍作業廳、工場、團體、農山漁村等勤勞報國隊ヲ招請セントズル
側ニ於テハ其ノ招請前ニ勤勞報國隊ノ勤勞作業ニ適スル諸事業ニ
ツキ細密正確ナル調査研究ヲナシ置キ勤勞報國隊ノ出動ラントテ圓
滑敏速ナラシメ併セテ作業能率向上並ニ作業訓練ニ資シ得ルヤウ
萬般ノ招請準備手配ヲ完了シ置タコト

(2) 勤勞報國隊招請側責任者ノ用意

勤勞報國隊員ハ年齢、性別、體力、習慣、業態各種各様ノモノナ
レバ勤勞報國隊招請側ニ於テ適裕ナル勤勞報國隊員指導責任者ヲ
選定シ、豫メ其ノ隊員ノ統制、指導能力ノ向上、作業技術ノ練成、
保健衛生養護等凡ソ勤勞作業ノ現地現場等ニ於ケル勤勞報國隊員
指導ノ要諦ニツキ夫々用意研究録成ヲナサシメ、勤勞作業能率増
進ニ依ル生産増強ノ實ヲ擧ゲ得ラルルヤウ努ムルト共ニ、皇國民
トシテノ敬養訓練ニ遺憾ナキヲ期スルコト

供覽 丙

管理局長

監理課長

書務官

情第二二四四號

昭和十七年十二月二十四日

臺灣總督官房情報課長 立川 義

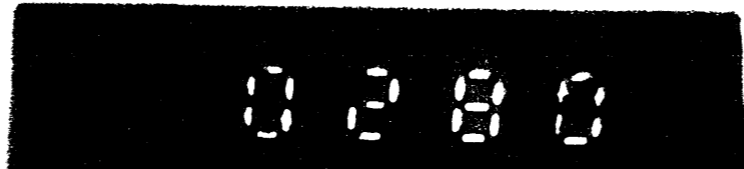


內務省
管理局長 殿

「奉公班回覽板」送付ノ件

皇民奉公會ニ於テ「一月號奉公班回覽板」ヲ發行致候條御參考迄
右及送付候也

18.1.6
管理局



送 受 及 號 局 議 合								日 月 付 受 及 號 局 管 主	
第	第	第	第	第	第	第	第		
號	號	號	號	號	號	號	號		
送	送	送	送	送	送	送	送		
月	月	月	月	月	月	月	月		
日	日	日	日	日	日	日	日		
								案 起	
								昭 和 18 年 7 月 7 日 午 後 5 時 15 分	
								施 行 1 月 7 日 午 後 5 時 15 分	
								主任	
								局長	
								監理課長	
								電報課長	
								官房情報課長	
								訓導部長ノ件	
								陸軍省ノ意見トシテ之現役	

丙

規 格 115

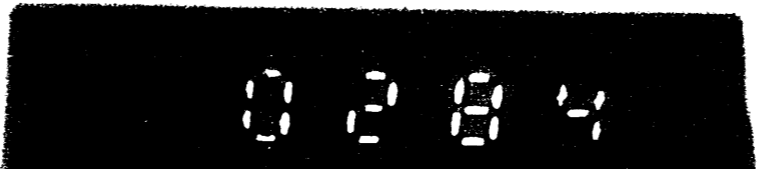


日	第
日	第
日	第
日	第

電
話
思
考
了
り
ま
る
に
依
り

軍人ノ就任ハ内地ニ於ケル大政翼賛會
會ニ於テモ就任セシメサル方針ナル
ニ付顧問其ノ他側面ヨリノ援助ハ軍
由望マシキモ直接部長ニ就任セシムルコ
トハ困難ナレニ依リ右事情ナリ知ノ
上ニ於テ取計相成ヌ

野村胡堂



政 翼 贊 會



實國第五〇號

昭和十八年二月十五日

大政翼贊會實踐局長 相川 勝

內務省管理局監理課長 殿

管理局長

監理課長

事務官

三月ノ大詔奉戴日實施方策ニ關スル件

願記ノ件ニ關スル奉會道府縣並六大都市支部長宛通牒寫左記宛參考
送付致候ニ付御諒承相成度候

國民總力朝鮮聯盟

樺太國民奉公會

臺灣皇民奉公會

淨書用紙甲號 日本製紙株式會社 製造

實國第五〇號

昭和十八年二月十五日

大政翼贊會事務總長 後 藤 文 夫

道府縣 支部長 殿
六大都市



三月ノ大詔奉戴日實施方策ニ關スル件

三月ノ大詔奉戴日ハ悉ニ決定致候常會徹底事項ト關聯シ「二百三十億
貯蓄」及「四千百萬石米」ノ達成ヲ收リ上ケ別紙實施方策ヲ決定相成
候ニツイテハ之カ 實施ニ關シ貴地方端トモ御連絡ノ上部落會、町内
會、並御保護ニ徹底スルヤウ御配意煩度此致及依覆候也

三月の大詔奉戴日実施方策

三月の大詔奉戴日は「承諾必謹」の精神を一層徹底すると共に左記実施方策によりこれが實踐を期すること。

一、大詔に関する講話

當日午前七時より十五分間「大詔に関する講話」を放送すると。

二、實踐事項

「二百三十億貯蓄と四千百萬石供米へ邁進の日」

貯蓄も供米もいよいよこの三月が最後の完成の月です。

貯蓄も供米ももう一と押しです。

部落會や町内會ではお互の責任にかけて必ず成し遂げませう。

(一)貯蓄 この日を期して、その地域のこれまでの實績をしらべて見てまだ足りないところがあれば今月中にはその豫定額を

突破するやがその實行策を立て、實踐に移すこと。

(二)供米 この日を期して、その地域の割當數量の供出状態をし

らべて見てこの月末までに割當以上を供出する方策を立て、

これを實踐すること。

三、實踐事項に関する放送

大詔奉戴日の實踐事項に関する講話放送をなすこと。

(日時及放送者は決定次第通知す)